



便利な仕事道具のご紹介

1. 話者判別の方法

(1) 話者の特徴をメモ書きする

話の中に出てきた内容や口癖もメモする

<例>

A : 張りのある声 座長? 00 : 05 : 15

B : ハスキー声 要するに 00 : 07 : 20

C : 関西なまり 大学教授 00 : 09 : 30

D : キムタク似 体育会系 00 : 10 : 10

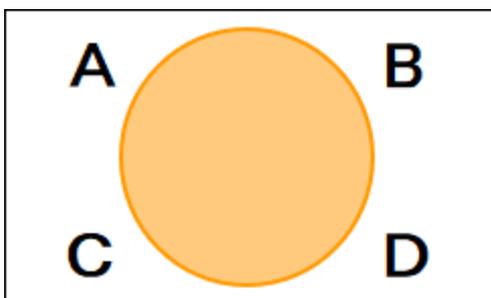
①聞きながら話者の特徴、タイムコードをメモしておく。

②確認するときは、現在の音を再生しながら、別のソフトでメモに書き出した箇所を聞いていく。

(2) 音が聞こえてくる方向から判断する

自分を中心にして、声が聞こえる方向にその人を配置した図を描く。

そして、話者の特徴をメモ書きする。



<例>

A : 張りのある声 座長? 00 : 05 : 15

B : ハスキー声 要するに 00 : 07 : 20

C : 関西なまり 大学教授 00 : 09 : 30

D : キムタク似 体育会系 00 : 10 : 10

<デメリット>

- ・ 席替えをされたら分からなくなりやすい
- ・ 録音方法がライン録音や指向性なしの録音だと使えない

(3) ソフトを使って話者ごとのサンプルを作成する

(1) (2) の方法に並行して、自己紹介の時の音声、名前を指名されている部分など特徴的な部分の音声を少し切り取って、音声サンプルにしておく

<手順1> 起こしソフトで起こしながら話者の確認、メモしておく

- ①座長 00:00:15 こういうのは初歩の初歩～
- ②事務局 00:00:25 大変申し訳ございません
- ③ノナカ 00:01:32 やっぱし応募された



<手順2> 音声を切り出す
話者サンプルを作成

■フリーソフトのご紹介

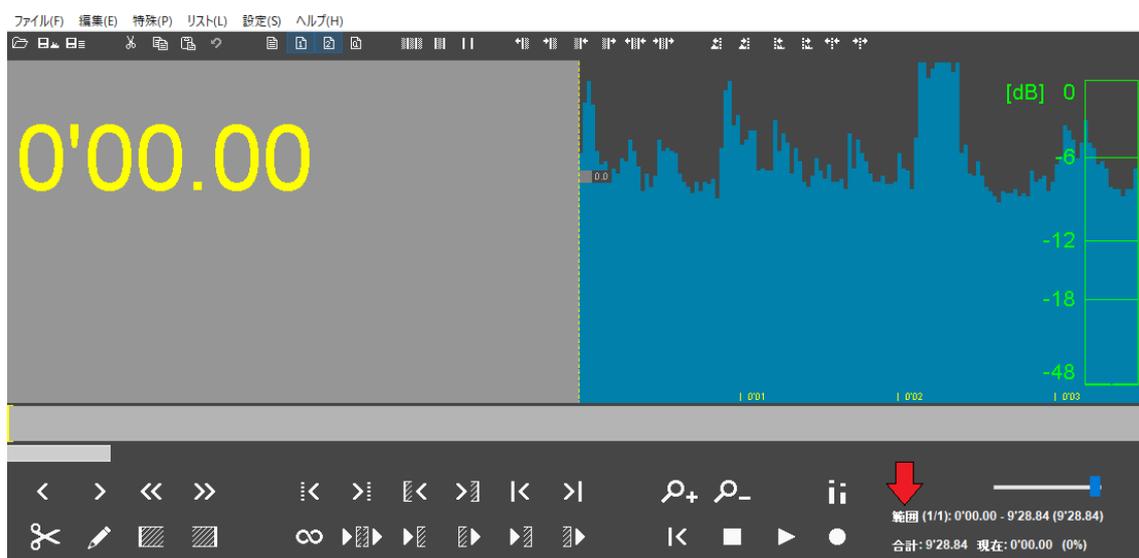
使用ソフト：mp3DirectCut

【ダウンロード】<https://freesoft-100.com/review/mp3directcut.php>

【本サイト】<http://mpesch3.de1.cc/>

(1) 音声を読み込む

音声ファイルを mp3DirectCut にドラッグ&ドロップして読み込む。



(2) 音声を一部切り出します

① 「範囲」と記されたテキストボックスにカーソルを乗せると、「選択部」に変わる



② 「選択部」に切り取る時間を入力→ 「 分 秒.00」 → 0' 15.00~0 '25.00」

③ Enter

(3) 切り出した音声ファイルを保存します

① 「ファイル」 → 「選択部の保存」

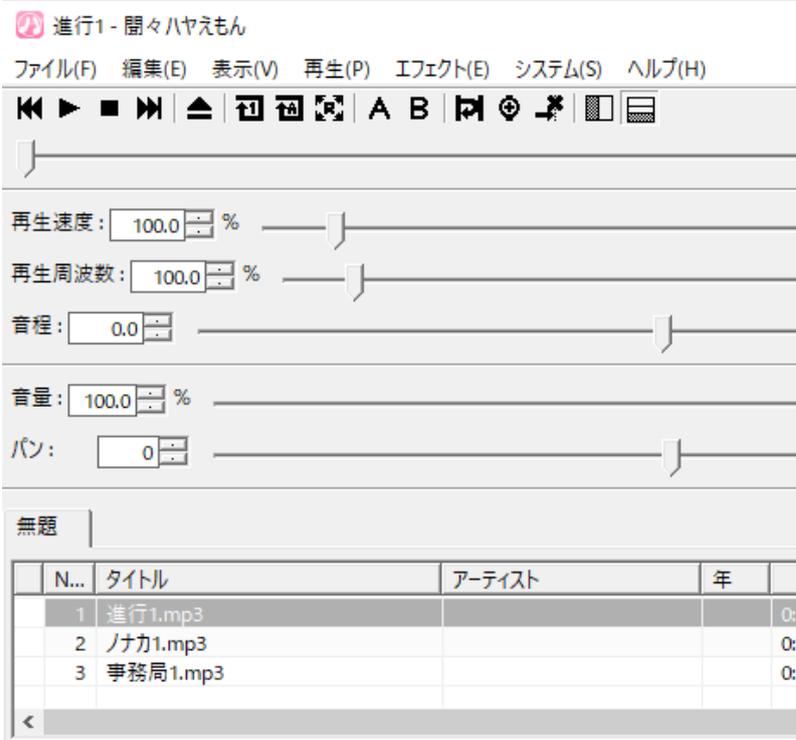
② 任意ファイル名入力→保存



<手順3> 「聞々（ぶんぶん）ハヤえもん」にサンプルを全て読み込む

【本サイト・ダウンロード】 <http://hayaemon.jp/>

切り出した音声ファイルをドラッグ&ドロップして読み込みます。



<手順4> 起こしソフトで起こしながら、聞き比べて判別していく



ソフトのご使用については自己責任でお願いいたします。

※トラブルについては一斉責任を負いかねます。